

エミユファイター®防火服デュアルファイン
ショート丈上衣／ハイウエスト型ズボン仕様書

熱海市消防本部

1. 概要

この株式会社赤尾製エミュファイター®防火服デュアルファインショート丈上衣／ハイウエスト型ズボン（当本部指定）は、外衣と中衣からなる多層構造とし、『ボディ・ナビデザイン』による特殊立体デザインの上衣とズボンとする。外衣と中衣は着脱可能なものとする。

防火服上衣は単体で、防火服ズボンは当本部夏用活動服ズボン着用で、防火服のISO規格であるISO11999-3TYPE1及び平成29年3月7日策定の総務省消防庁発行の消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインに準拠したものとする。また、血液・体液を媒介とする感染症病原体から隊員を保護するため、透湿防水層には、JIS T 8060D及びJIS T 8061Dに規定されている人工血液バリア性、ウィルスバリア性試験においてクラス6レベルに適合する素材を用いること。

2. 使用材料

1) 外衣生地（上衣／ズボン共当本部指定）

項目	規格
品番	X29745/X29720
色番	ゴールド色／ネイビー色（アラミドは原液着色）
品名	ジーバリア®ライト
混紡率	メタ型アラミド 53% パラ型アラミド 47%
組織	二重織
引張強力	タテ 2300N以上（JIS L 1096A法） ヨコ 1670N以上（JIS L 1096A法）
引裂強力	タテ 375N以上（JIS L 1096A-1法） ヨコ 300N以上（JIS L 1096A-1法）
燃焼性	残炎時間 1.0秒以下（JIS L 1091A-4法） 余じん時間 1.0秒以下（JIS L 1091A-4法） 炭化距離 10.0cm以下（JIS L 1091A-4法）
制電性	7μC以下（JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法）

2) 補強生地（上衣／ズボン共当本部指定）

項目	規格
品番	X27245/X27220
色番	ゴールド色／ネイビー色（アラミドは原液着色）
品名	エクスファイア®ツイル
混紡率	メタ型アラミド 90% パラ型アラミド 10%
組織	2/1 綾織
引張強力	タテ 1800N以上（JIS L 1096A法） ヨコ 1100N以上（JIS L 1096A法）
引裂強力	タテ 90N以上（JIS L 1096A-1法） ヨコ 70N以上（JIS L 1096A-1法）
燃焼性	残炎時間 1.0秒以下（JIS L 1091A-4法） 余じん時間 1.0秒以下（JIS L 1091A-4法） 炭化距離 10.0cm以下（JIS L 1091A-4法）
制電性	7μC以下（JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法）

3) 中衣（上衣／ズボン共当本部N指定）

ア. 透湿防水層

アラミド100%基布にゴアクロステック®メンブレンをラミネートしたものとする。

要求性能

(耐水圧：初期及び洗濯20回 294Kpa以上 JIS L 1092 フィルム面加圧 目皿
使用)

(透湿度：850g/m²/h以上 JIS L 1099 B-2法)

(人工血液バリア性、ウィルスバリア性試験：レベル6クラス JIS T8060D及び
JIS T8061D)

イ. 遮熱層兼裏地

(上着用) 品 名 テイジン・テックウェーブ (TM)

品 番 X29F20

色 相 濃紺

(ズボン用) 品 名 テイジン・エクspfファイア®リップストップ

品 番 X29R20

色 相 濃紺 (格子部はゴールド色)

4) 補助材料

ア. 内袖口 アラミド100%ニット

イ. 面ファスナー 幅25mm・50mm・38mm

ウ. 反射材 ユニチカスパークライト (株) 製パンチングメッシュ75mm巾黄・銀
(一部縫い糸上に蓄光シリコンレーン加工すること)

エ. ファスナー YKKファスナー

オ. サスペンダー ゴム製テープ幅約38mm黒色

カ. 押しホック 真鍮製#7050

キ. 縫製糸 メタ型アラミド 100% 40番
パラ型アラミド (フィラメント) 30番 (反射テープ部分)

ク. アイスポケット ナイロン黒メッシュ

ケ. アラシールド パラ系アラミド100%基布にハイソリッドポリマーコーティング
(上衣：両肩・両肘・両袖口 ズボン：両膝・両裾口)

3. 縫製

1) 全般

ア. 各部の縫い合わせは良好である事。

イ. 糸調子は良好である事。

ウ. 縫い代は約1cmとし表地はオーバーロックを掛け縫い始めと縫い終わりは返し針を施す事。

エ. 各部の縫製は防水構造を用いた縫製とする。

4. 上衣

1) 身頃

ア. 前身頃のハギ協合わせはオーバーロックを掛け地縫いをして片倒し飾り縫いとする。

イ. 左身頃に幅約9.5cmの前立付きとし、前立内側に面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。

ウ. 右前身頃に面ファスナーとコイルファスナーを付ける。

エ. 右前身頃の前立ファスナー下部につまみを取り付ける。

オ. 左右前立側面に水平にマイク掛け用とアンテナ固定用の特殊型マイクフックを取り付ける (補

強生地使用)。

- カ. 左右胸に特殊型三方風巾胸ポケット（雨蓋三分割付き）を縫い付け、ポケット内側にループを2本付け、ポケット底部には水抜き穴を設ける（補強生地使用）。
- キ. 左右裾に内貼りポケット（雨蓋付き）を縫い付ける（雨蓋補強生地使用）。
- ク. 後身頃は一枚仕立てとしつまみ付きとする。
- ケ. 両肩・両肘・両袖口にアラシールドを縫い付ける。
- コ. 前身頃胸部・後身頃背中・裾周り・後身頃背中と裾の間に縦に2本に反射材ユニチカスパークライト（株）製パンチングメッシュ75mm巾を縫い付ける（一部縫い糸上に蓄光シリコンレーン加工すること）。
- サ. 見返し上部にハギを入れ中衣着脱のコイルファスナーを左右・面ファスナーを上部に付ける。
- シ. ポケット上部に力布として透湿防水層を縫い付ける。
- ス. 前身頃裏側下部に片布を取り付ける。
- セ. メイン色はゴールド色とし、袖の外側と内側（脇下含む）をネイビー色とする。
- ソ. 後身頃背ヨークに当本部指定箇所にて「静岡県 熱海市消防本部」の文字を丸ゴシック体・黒色で印刷する。
- タ. 後身頃つまみ部分に当本部指定箇所にて「ATAMI F. D.」の文字を丸ゴシック体・黒色で印刷する。

2) 襟

- ア. 表及び裏に共布を用いた一枚襟とし、芯地を入れ、地縫いの上飾り縫いをする。
- イ. 襟巾は後中心で約10.5～11cmとする。
- ウ. 襟の前部にはストラップが取り付けられていること。
- エ. 襟付けは防水構造を用いた縫製とする。
- オ. 表襟中央に襟吊りを付ける。

3) 袖

- ア. 袖は特殊ハギを用いた4枚袖とする。
- イ. 運動性を良くする為に後袖山にダーツを設ける。
- ウ. 袖口にアラミド素材のジャージと浸水防止用透湿防水層（シルバー及び無しは不可）を縫い付ける。
- エ. 袖口より約10cm上に反射材ユニチカスパークライト（株）製パンチングメッシュ75mm巾を縫い付ける（一部縫い糸上に蓄光シリコンレーン加工すること）。
- オ. 袖口に中衣止め用押しホック付ナイロンテープを左右各2個取り付ける。
- カ. 左袖に腕章取付用メス面ファスナー約7.5×14cm付きとする。
- キ. 腕章は赤色又は黄色反射生地使用し指定の文字を色にて刺繍入り若しくはパンチングメッシュ75mm巾黄・銀又は赤・銀2種類の反射板とする。
- ク. 袖口には補強の為アラシールドを縫い付ける。
- ケ. 肘に補強の為アラシールドを縫い付ける。

4) 胸ポケット

- ア. ポケット形状は長方形型の三方風巾ポケットを左右に縫い付け三分割雨蓋付きとする。
- イ. 胸ポケットは別々の無線機に合わせた型であるため雨蓋とポケットマチの寸法は異なる特殊型とする。

- ウ. 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとする。
- エ. 両胸ポケット内にループを2本取り付けること。
- オ. ポケット底部に水抜き穴を設ける。

5) 裾ポケット

- ア. ポケット形状は長方形の内貼りポケットを左右に縫い付け雨蓋付きとする。
- イ. 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとする。

6) 中衣

- ア. 中衣は透湿防水層（ゴアクロステック：不織布不可）と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いすること。
- イ. 肩部に難燃フェルトを（遮熱層兼裏地）縫い付ける。
- ウ. 両脇に保冷材収納用ポケットを縫い付ける。
- エ. 透湿防水層（不織布不可）は地縫いをして片倒し飾り縫いをしシームテープで目止めをする。
- オ. 前身頃下部に取り扱い表示を縫い付ける。
- カ. バイヤステープで身頃及び袖口を始末し、外衣着脱用コイルファスナーを左右・面ファスナーを上部に付ける。

5. ズボン

1) 身頃

- ア. ズボンの形状は、最初から「く」の字の様に曲がっているデザインとしてベルトとサスペンダーにより支持するものとする。ハイウエスト型とする。
- イ. 内股部・脇部に運動性を良くするための特殊ハギを入れる。
- ウ. 脇縫い・内股縫い・尻縫いは裁ち目にオーバーロックを掛け地縫いをし片倒し飾り縫いとする。
- エ. ズボンはネイビー1色とする。

2) 前立

- ア. 前立はコイルファスナーと面ファスナーの併用仕立てとし押しホックで止める。
- イ. 押しホックの裏側には透湿防水層の当て布を付ける。

3) 腰部

- ア. 調整ベルト用ループ幅は約38mmとし、6本縫い付け腰の両側で確実に締められる構造であること。
- イ. 調整用ベルトは安全帯用ベルト通しの上部に取り付けするものとする。
- ウ. 調整ベルトが抜けないように先金（樹脂製）付きとする。
- エ. 調整ベルトを締め付けた後に緩まないようフリー面ファスナーで固定出来る構造であること。
- オ. 調整ベルトの下に安全帯用ベルト通し（補強生地使用）を5本縫い付ける。
- カ. 安全帯用ベルト通し裾部2点は上部2点卸式の二重構造とする。
- キ. 安全帯用ベルト通し前身2点の下にカラビナ通し用フック（二重構造）を左右に取り付けること（補強生地使用）。
- ク. カラビナ通し用フックは正面から見て左右へ通すものとする。
- ケ. 前身頃上部に共生地でサスペンダー受け金具支持台を縫い付ける。端末部分はカン止めをする。
- コ. サスペンダーはホルスター型とする。
- サ. 腰裏地に中衣着脱のコイルファスナーを付ける。
- シ. 腰裏に片布・サイズマークを縫い付ける。

4) 膝部

- ア. 運動性を良くする為に膝部はバイヤス裁ちにする。
- イ. 膝部に補強の為アラシールドを縫い付ける。

5) 裾ポケット

- ア. ポケット形状は長方形型の二方風巾ポケットを左右に縫い付け雨蓋付きとする（補強生地使用）。
- イ. 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとする。
- ウ. ポケット底部に水抜き穴を設ける。

6) 裾

- ア. 両裾から約10cm上の位置に、反射材ユニチカスパークライト（株）製パンチングメッシュ75mm巾を縫い付ける（一部縫い糸上に蓄光シリコンレーン加工すること）。
- イ. 裾口脇側に開閉コイルファスナーを取り付ける。
- ウ. 裾口に絞り用フラップを取り付ける。
- エ. 裾口には補強の為幅約3.5cmのアラシールドを縫い付ける。
- オ. 中衣固定のため、押しホック付ナイロンテープを左右各2個取り付けること。

7) 中衣

- ア. 中衣は透湿防水層（不織布不可）と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いすること。
- イ. 透湿防水層（不織布不可）は地縫いをして片倒し飾り縫いシームテープで目止めをする。
- ウ. 膝部に難燃フェルトを（遮熱層兼裏地側）縫い付ける。
- エ. バイヤステープで腰部及び裾口を始末し、外衣着脱コイルファスナーと面ファスナーを付ける。
- オ. 身頃上部に取り扱い表示・片布・サイズマークを取り付ける。

6. 寸法表

1) 上衣

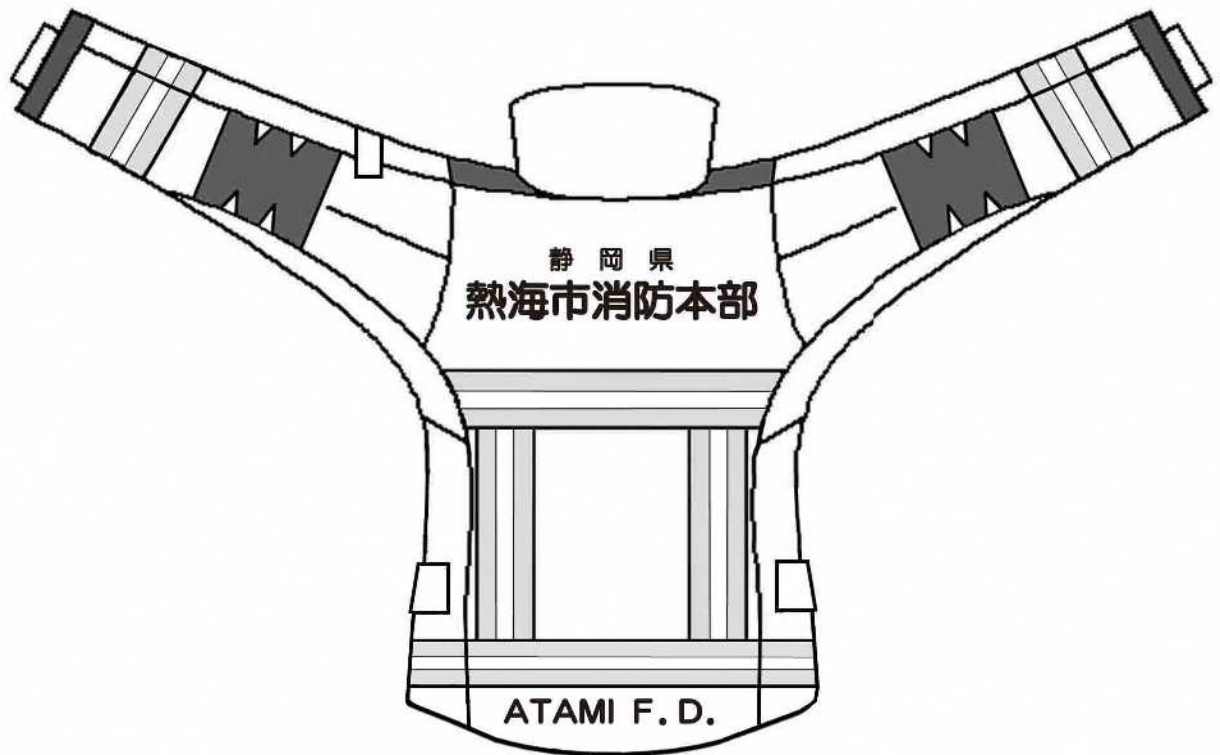
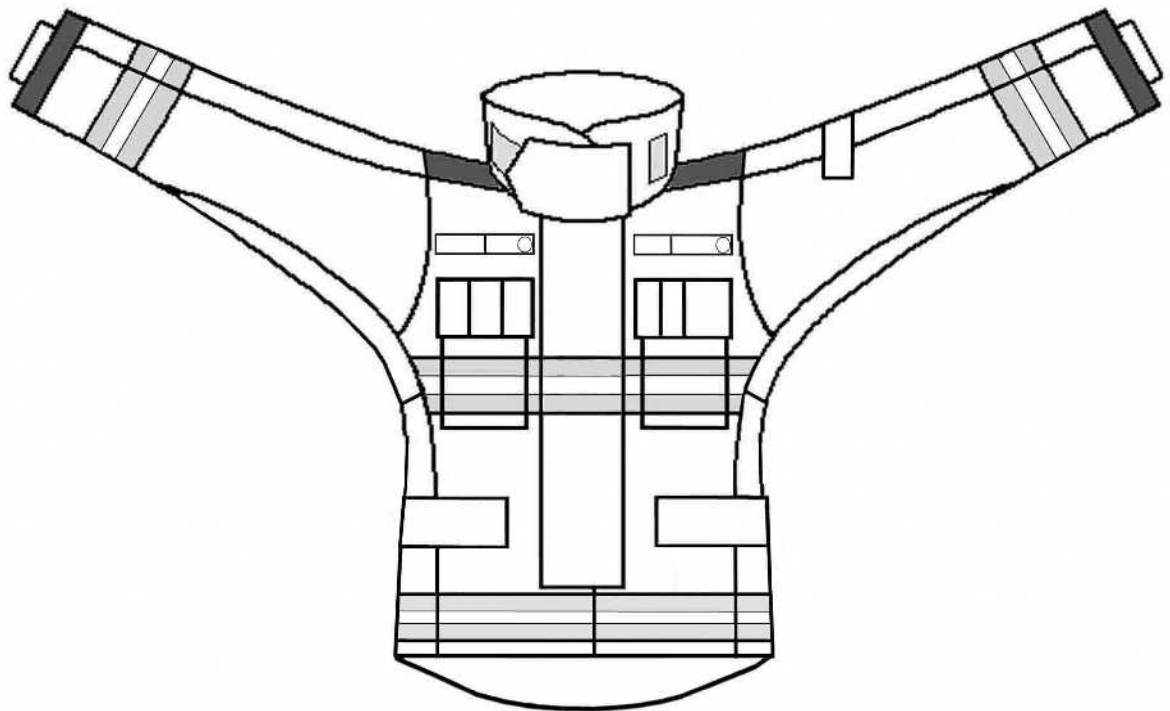
サイズ	着丈	衿丈	胸 囲	裾 回
S	69	77	116	112
M	71	80	120	113
L	75	83	124	117
LL	79	86	130	123
3L	83	89	136	129
4L	87	92	146	139
5L	87	95	156	149
BM	75	78	124	117
BL	79	81	130	123
BLL	83	84	136	139
B3L	87	87	146	149
B4L	91	90	156	156
B5L	91	93	166	166

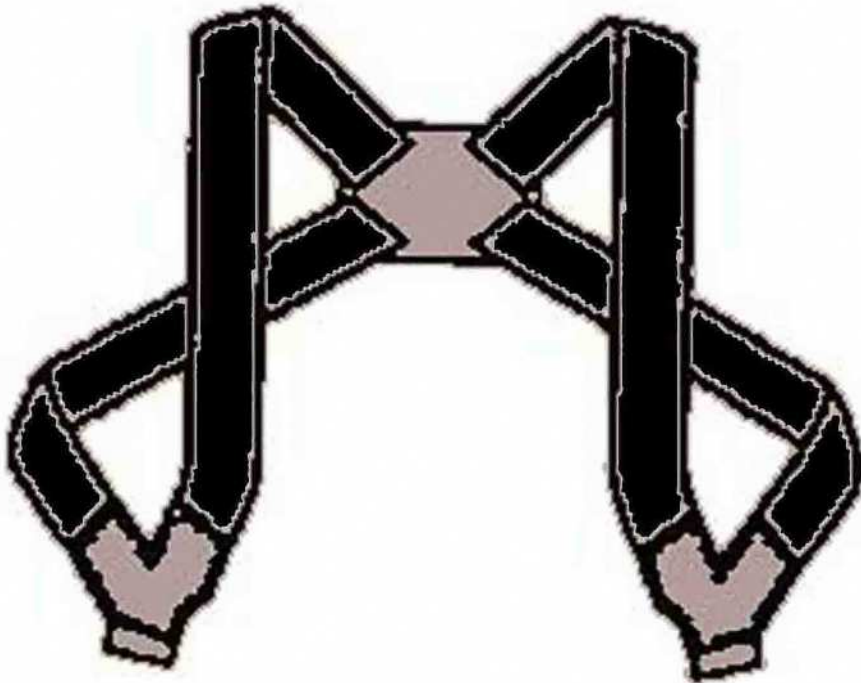
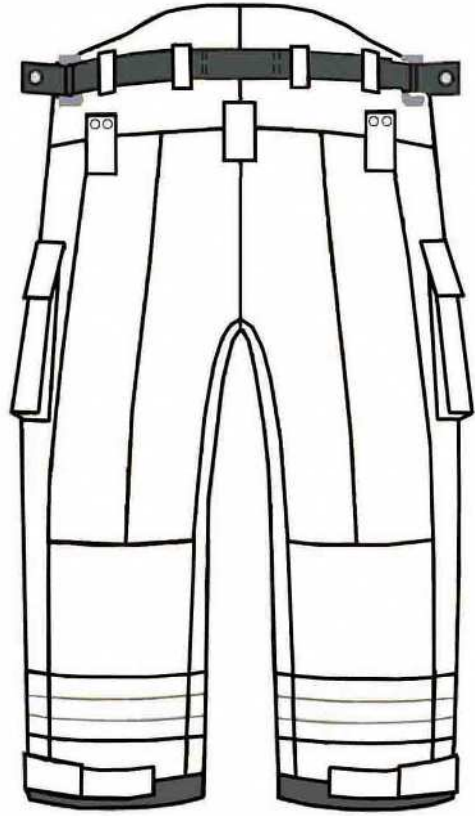
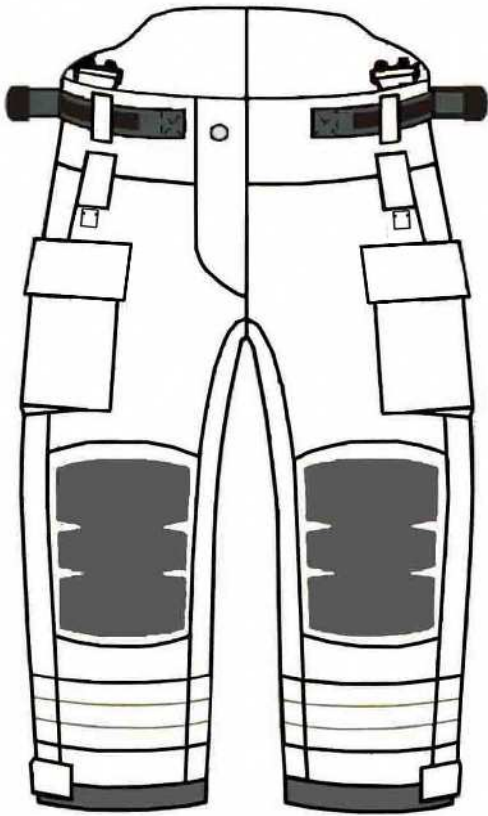
2) ズボン

サイズ	股 上	股 下	渡り幅
W80	33	70	36
		75	
W85	34	70	37
		75	
W90	35	70	38

		7 5	
W 9 5	3 5	7 0	3 9
		7 5	
W 1 0 0	3 6	7 0	4 0
		7 5	
W 1 1 0	3 7	7 0	4 3
		7 5	
W 1 2 0	3 8	7 0	4 6
		7 5	
W 1 3 0	3 9	7 0	4 9
		7 5	
W 1 4 0	4 0	7 0	5 2
		7 5	

7. 概要図





消防長

所 長

署 長

課 長

当直司令

泉

本 署

南熱海